

若者を対象としたつながり促進事業（令和4年度 地域女性活躍推進交付金事業）

令和4年12月6日（火） フューチャリングアイデアソン ～未来を創ろう～

これから社会に一步を踏み出す若い世代が集まり、今、不安に感じていることや、これからの長い人生を自分らしく生きるために必要なこと等について意見交換しました。

【参加者】

近畿大学、大阪経済法科大学の学生、社会人を中心とした10代～20代の女性 18名

■ 情報発信について

【現状】

- ・（普段、情報を集めるツールは）Twitter、Instagram、YouTube、チラシ
- ・ Twitter で気になった情報をGoogleで調べる。
- ・ 手続き情報など、正確な情報を知りたい場合は公的なサイトを見るが、普通の情報収集はキーワードで検索する。
- ・ 難しい内容であればYouTube（動画）で、普通の情報であれば文字でというふうに、使い分けている。
- ・ こういうことをやってみたいという意思がないと、行政の情報はあえて検索しない。
- ・ （公務員志望の学生は）行ってみたい自治体のホームページを調べる。
- ・ 母親は八尾のLINEやアプリを活用しているが、自分を入れていない。
- ・ 市政だよりは見ていない。存在も知らなかった。

【効果的な情報発信について】

- ・ 広めたい情報の内容にもよるが、基本的には市民が探しにいかねばならないような場所に情報が置かれていたら、まず探すという動作をしなければたどり着かない。
- ・ YouTubeやホームページに情報が載っていても、それを探しに行かないと出てこない。例えば動画媒体でもティックトック（利用者の多くは、おすすめに出てきたものを見ていく形で活用している）のような、市民が探しに行かずとも触れることができるような媒体を活用してはどうか。
- ・ 駅などで掲示をするなど、探しに行かなくても見れるようなところに情報が置かれていた方が広まるのではないか。
- ・ 不特定多数の若い人に広めるならティックトック。
- ・ ティックトックに賛成。だいたい1分を超えない短い動画なので、正確に早く情報を手に入れられる。短い動画を目に触れる場所に置くというのも効果的だと思う。
- ・ 誰が発信するのも重要ではないか。人気のある人、友達や自分の好きな人、知っている人が発信すると届きやすい。
- ・ インフルエンサーが発信したことは話題になることが多いので、そういう人を起用してPRするのは効果的かと思う。しかし逆に、行政が発信するからこそ、情報の信頼性が高まる部分もあると思うので、広めたい情報によるのではないか。

- 若い人は SNS、インフルエンサーから影響を受けるので、若い人にはインフルエンサー、年齢の高い世代には行政から発信する情報を取り入れてもらうのはどうか。(ターゲットによって発信方法を工夫する)
- チラシや広報物を配っているのに読んでいない人がいるというのはもったいない。それを読むことの付加価値をつければ読む人が増えるのではないか。サービスを安く利用できるクーポンや、続きを読みたくなるような漫画の連載などを挿入してみるのもよいのでは。
- 興味がないことは読まないで、人目を引く工夫は良いと思う。特典などがあれば。街の活性化にもつながるようなクーポンなど。

■ 社会に出るにあたり、不安に感じること

- 人間関係
 - 自発的に動かないと人とのつながりはなくなってしまうのではないか
 - 大人になるにつれて、友達関係が少なくなってきたらどうしようと思う
- 働くことについて
 - 自分が働く場所が自分のイメージと違ったときに、どうすればよいのか
 - 本当に自分のやりたいことと、仕事がマッチするのかという不安
 - 結婚や出産を経て長く働いていけるのか
- 知識
 - 社会の常識、年金や税制度の手続きについての知識
 - 家族を養うときに、そういった制度を理解していないことで失敗するのではないか
- 性別
 - 性別で差をつけられることはないか
 - 学生時代よりも性別で何かが変わることが増えていくのではないか
- 責任
 - 社会人としての責任、自分だけでなく他の人にも関わるような責任がかかってくる
 - 怒られ慣れていないがうまくやっていけるのか

■ 10年後の自分をイメージし、なりたい自分をかなえるためには、どういうサポートがあったらいいか

- 働くことについて
 - 性別に関わらず産休や育休がとりやすくて、働きやすい場所が増えてほしい
 - 仕事とプライベートを両立しやすい環境、職場内に託児所
 - 女性でも昇格しやすい環境

- 経済的サポートについて
 - 既婚未婚に関わらずサポートを受けられるような仕組み
 - 家賃補助
- 人間関係
 - 仕事の話だけでなくプライベートの話ができる人やコミュニティ
 - 人と話すことができる輪、年齢や性別に関わらず助け合えるコミュニティ
- 学び
 - 礼儀作法、制度、税金、保険のことなどを学ぶ場
 - 社会人になっても学ぶことのできる場、学び直しの制度
 - 図書館を活用したスキルアップや生涯学習の促進ができる取組み
 - 安価でスキルアップできる講座等
- 相談窓口
 - 専業主婦が悩みを抱えた時に、個人的な相談ができる場所
 - 友達や会社の人には話せないような個人的な相談についてアドバイスもらえる場所
 - 第三者が客観的に悩みを聞いてくれる場所
- その他
 - 専業主婦から再び就職するなど、選択しやすくシフトしやすい社会
 - 決めつけられず自由に選択できる環境
 - 市役所に行かなくても申請までの手続きができるアプリ
 - 引っ越し等の手続きのワンストップ窓口

■ その他意見・感想等

- 今回話し合っ、不安に思うことは一緒だと安心した部分もあった。今回この少人数の中で出された不安について、母数を広げても同じ不安はあると思うので、対策が必要ではないか。自分も知識をつけようと思う。
- 若い世代と行政がつながる機会が少ないのでは？若い自分達が内々に秘めている不安を行政は知らないし、自分達も発していないから、策につながっていないのではないか。
- ホームページ上にご意見箱のように行政に伝える場があったとしても、自分は個々に意見を送りはしなかったと思う。今回集まって話し合ったことで、自分の奥底で思っていたことが、言葉になってよかった。